

## 第4回関西圏域の展望研究会

送付させていただいた資料を参考に、報告書(案)についてご意見を自由にご記入の上、8月24日(月)午前中までにメールにてご送付ください。

委員氏名	砂原庸介
------	------

## ご意見

短期間で優れたものをまとめられたと思いますが、いくつか気になったことについてコメントさせて頂きたいと思います。

・「地方分権」を強調することと「双眼構造」という主張は折り合いが取れているのでしょうか。東京圏・関西圏を中心とするとすれば、必ずしもそれ以外の地方への「分権」というのは出てこないように思います。

・分権を強調するよりも、むしろ政策コンセプトとして国土の拠点＝双眼構造があることを強調すればよいのではないのでしょうか。そういう意味では、この政策コンセプトに連なるのは、「① 国土の双眼構造を実現し、世界と交流する「新首都関西」を創造」だけではなく、「⑤ オンリーワンの技術で世界に羽ばたく「地域経済モデル」を創出」「⑥ 「アジアの文化観光首都」の実現」「⑦ 防災・医療の充実による安全・安心圏域の実現」も含まれるように思います。

・政策コンセプトのもうひとつ、「人が環流し地域の魅力を高める関西」は、本質的には関西に限らない問題を扱っていると思います。日本全国でも考えられるべき、「多様性」「循環」「持続」「自立」「共生」をキーワードとした理念(23ページ)や「人」に焦点をあてた政策・投資(24ページ)に基づいたものであり、挙げられている政策を実現していくことで、関西が全国を先導するものであるという立場を取れるのではないのでしょうか。このようなコンセプトに連なる政策群として、基本戦略②③④⑧があるように思いました。

・「政策コンセプト」と「基本理念」の関係をもう少し整理できないかと思いました。両者にはかなり重複があると思いますし、どちらが上位にあるのかもちょっとわかりません。やはり理念でもコンセプトでも、もとにあるものから演繹的に広がっていく、という方が美しいように思います。そういう意味では、「まとめ図」にある矢印(特に真ん中のもの)が何を意味しているのかが必ずしも明らかではないように思いました。また、冒頭の提言の文章のところでは基本理念についてほとんど触れられていないことも気になります(まとめ図にはありますが)。

・そのほか、各論について気がついたところについて列挙します。

ー政府機関の移転ですが、インパクトを重視するなら、それこそ三権のひとつである司法機関を移してしまえと言った方が明確ではないでしょうか。

ー二重の住民登録や法人税の話ですが、これは国に対して制度要望するという趣旨でしょうか。提言のところでは、どちらかといえば、関西として実施できそうな話を表に出した方がよいように思います。

ー次世代育成の議論のときに、三人目を強調しすぎるのはどうでしょうか。むしろ未婚の方が重要な問題だと認識されているように思います。

ー提言の箇条書き番号(①～)が重なっているのがちょっと読みにくいのと、レベルが一段低い箇条書き番号と、本編各論の■が対応していたりしていなかったり(前半では対応していて後半ではしていない)のが気になります。

ー将来推計・強み(11-15ページ)、として書かれていることの一部が「弱み」(課題)になっているところがあると思います。それは推計の説明ということだと思いますが、重複は整理してもよいのではないかと思います。

ーまとめ図①-③での違いにはどういう意味があるのでしょうか。

・何度か議論に出したところなので、具体的な内容について触れさせていただきたいと思ったのですが、「人の環流の創造には、住宅の流動化、住宅政策の抜本強化が重要である。」(29ページ)は、たとえば「人の環流の創造には、住宅のコストを下げなくてはいけない。そのためには住宅の流動化、住宅政策の抜本強化が重要である。」などというかたちはいかがでしょうか。